

2023 ジュニア全日本ロード 大会報告

年に一度、年齢別の日本チャンピオンを決めるビッグイベント、全日本自転車競技選手権大会ジュニア、U17、U15の大会が昨年と同様、京都府南丹市美山町で開催されました。

本校からは、昨年度この大会で完走、全国選抜大会ロードレースで完走したこと等で、出場権を得ていた3年生の塚本・橋本の2名が出場しました。

コースは、1周10.3kmを8周回する82.4kmで、日本一の称号をかけて10時40分にスタートしました。

6月25日(日) 男子ジュニア 塚本・橋本 出走



定刻に全国から選ばれた102名がスタートこのクラスは18歳以下となるため、早生まれの大学1回生から高校2年生の12月生まれまでの選手が走ります。

レースが始まって1~2周目は様子見で、約90名の大集団のまま。3周目から日本代表の2名が集団から飛び出し一気にスピードが上がる。その後、集団から逃げようとする選手が次々現われ、集団のスピードが落ちない展開でレースは終盤に向かう。本校の2名は逃げには出れない

ものの集団内で順調に周回を重ね、60名ほどに減った集団内でゴールスプリントに備える。

レースは残り2周回で北海道の選手が3名集団から逃げを試み、北海道選手2名の逃げが完成した。集団は前半からのハイスピードの展開で疲れたのか2人の逃げを容認しそのまま最終周回へ。冬の練習環境に恵まれない中、北海道の選手が1,2フィニッシュ。この2人を追いかけた4名で3位あらしい。そして20秒遅れで約40名の集団スプリントとなり、本校の橋本が26位完走、塚本はゴール前で幅寄せされフィニッシュラインで転倒するも32位完走となった。

この完走により2名は卒業後ではあるが、来年度の全日本選手権ロードの出場権を獲得。



ゴールスプリント